

令和7年度

藤森中学校教育課程



校歌

作詞 西田 義忠
作曲 中田 喜直

一

洛南の四季のいろどり
野にみつる自然の默示

培わん豊かな知性

藤森 藤森

われらが学び舎

三年の励みは

日々新たなれ

二

くれたけ
吳竹の緑かがよい

つぎゆかん栄ある歴史

ふじのもり
藤森 藤森

われらが母校
もとめる真理は

永遠の命ぞ



京都市立藤森中学校

〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町 55 番地

TEL 075-641-5227

FAX 075-641-5228

<http://www.edu.city.yoto.jp/hp/fujinomori-c>

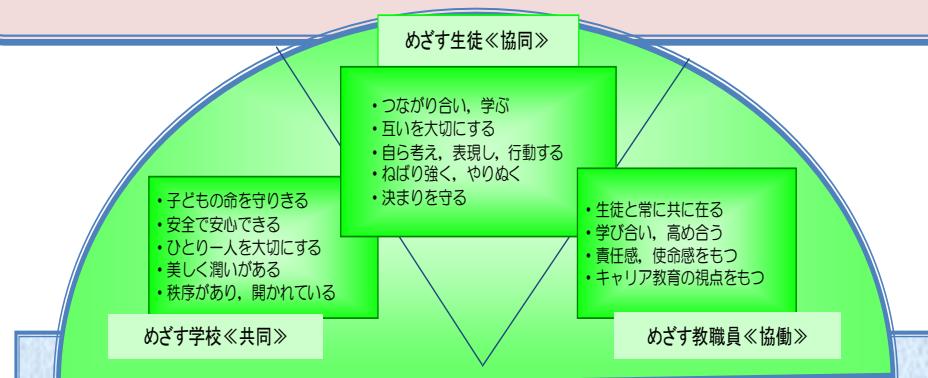
<長期的目標>

学校教育構想図（藤中教育の精神）～今を生き、未来を生きる藤中生のために～

藤森中学校 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤とした藤中教育の伝統を継承し、すべての生徒に、自らの将来を切り拓くことができる力を育む。

- ◆ **自主** : 自ら考え、行動できる生徒
- ◆ **敬愛** : 自他を大切にする生徒
- ◆ **挑戦** : 挑戦し、結果から学ぶ逞しい生徒



学校教育における行動目標

「あいさつ」 「時間」 「授業」 「言葉」 豊かな言葉

- 信頼し合い、安心して学ぶことができる生活の場を築くために

人権教育の目標

- 一人ひとりの背景に踏み込んだ生徒理解
- 安心と信頼を感じ合える仲間づくり
- 感じ学び伝え合う人権学習の実践
- 人権文化の構築とその伝承

生徒指導の目標

- 生徒理解と信頼関係のもと、心に響く指導の実践
- 規範意識の向上と基本的生活習慣の確立
- 生徒会を基盤にした自治的な集団づくり
- 家庭・地域への発信・連携の強化と小中連携の実践

学習指導の目標

- 何事にもあきらめない、粘り強い生徒を育てる
～一生懸命がカッコいい～
- 学び合い学習の実践と研究
- 道徳教育の実践と研究
- つながりのある教育活動＝学校から家庭へ
- 最欠生徒への相談的対応
- 低学力生徒への手立て

安全で安心できる学校をつくるために、教職員の自己研鑽と、施設・設備の整備・充実に努め、潤いと安らぎのある教育環境をめざす。

教育環境の条件整備・環境整備

子どもは地域で育ち、生きることから…

- 地域・家庭との連携を図り、開かれた学校をめざす。
- 地域に根ざした特色ある教育活動を推進する。

学校をひらく～地域と家庭との連携

● 生徒数・学級数（4月10日現在）

学年	普通学級		育成学級		生徒 総計
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
1	6	235	3	7	242
2	7	275		4	279
3	9	260		4	264
合計	22	771	3	15	785

● 教職員数（4月10日現在）

校長	1	養護	2
教頭	1	事務職員	2
教員	47	管理用務員	1
ALT	1	スクールカウンセラー	1
合計 56			

● 教育課程

区分	必修教科の授業時数									道徳	特別活動	総合	総授業時間数
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語				
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015
育成	140	70	70	70	70	70	105	70	70	35	175	70	1015

* 育成は今年度の課程です。特別活動は学活・生活・自立・職業の合計です。

● 年間予定

令和7年度(2025年度) 年間行事予定

I 学期																	
令和7年 4月		5月			6月			7月			8月			9月			
1 火		1 木	二者懇談会④	1 日			1 火			1 金			1 月				
2 水		2 金	二者懇談会⑤	2 月	耳鼻科検診 1年・1組		2 水			2 土			2 火				
3 木		3 土	憲法記念日	3 火			3 木			3 日			3 水				
4 金		4 日	みどりの日	4 水			4 金			4 月			4 木				
5 土		5 月	こどもの日	5 木			5 土			5 火			5 金				
6 日		6 火	振替休日	6 金	教育実習終了	6 日			6 水			6 土					
7 月	春季休業終了	7 水		7 土			7 月			7 木	学校閉鎖日	7 日					
8 火	始業式・着任式 教科書配布(23年)	8 木		8 日			8 火			8 金			8 月				
9 水	入学式	9 金	内科検診3年・1組	9 月	耳鼻科検診 2年		9 水			9 土			9 火	3年第2回テス ト①			
10 木	身体計測 教科書配布(1年)	10 土		10 火	保護者参観 (2.3限)		10 木	懇談会①1.2年	10 日			10 水	3年第2回テス ト②				
11 金	新入生歓迎会 学級写真	11 日		11 水			11 金	懇談会②	11 月	山の日		11 木					
12 土		12 月		12 木			12 土			12 火			12 金				
13 日		13 火	検尿(二次)	13 金			13 日			13 水			13 土				
14 月	ジョイプロ1年	14 水	内科検診2年	14 土			14 月	懇談会③	14 木			14 日					
15 火	眼科検診 2.3年・1組	15 木		15 日			15 火	懇談会④	15 金			15 月	敬老の日				
16 水	全国学力調査 (理・質問)	16 金	確認プログラム 3年	16 月			16 水	懇談会⑤	16 土			16 火					
17 木	全国学力調査 (国・数)	17 土		17 火			17 木	懇談会⑥	17 日			17 水					
18 金	認証式 各種委員	18 日		18 水	第1回テスト①		18 金	I期終業式	18 月			18 木					
19 土		19 月	教育実習開始	19 木	第1回テスト② 歯科検診(欠)		19 土	夏季休業開始	19 火			19 金					
20 日		20 火		20 金	第1回テスト③(1年) ・心臓検診二次		20 日			20 水			20 土				
21 月	部活集会	21 水	修学旅行①	21 土			21 月	海の日	21 木			21 日					
22 火	眼科検診1.2年	22 木	修学旅行②	22 日			22 火	授業予備日	22 金			22 月					
23 水	検尿①	23 金	修学旅行③	23 月	耳鼻科検診3年		23 水	授業予備日	23 土			23 火	秋分の日				
24 木	検尿②	24 土		24 火			24 木			24 日			24 水				
25 金	二者懇談会① 1.2年	25 日		25 水			25 金			25 月	夏季休業終了	25 木					
26 土		26 月	心臓検診1年(午後)、選書会	26 木	生徒総会		26 土			26 火	II期始業式	26 金	合唱コンクール(京都コンサートホール)				
27 日		27 火	選書会	27 金			27 日			27 水	夏休み明けテス ト	27 土					
28 月	二者懇談会②	28 水	内科検診1年・進路保護者説明会	28 土			28 月			28 木			28 日				
29 火	昭和の日	29 木	歯科検診(午前)	29 日			29 火			29 金			29 月				
30 水	憲法学活 二者懇談会③	30 金		30 月	確認プログラム 2年、人権週間		30 水			30 土			30 火				
		31 土					31 木			31 日							

※予定ですので、変更になることがあります。ご了承ください。

												京都市立藤森中学校					
Ⅱ学期												Ⅲ学期					
10月			11月			12月			令和8年		1月		2月		3月		
1	水		1	土		1	月	人権学習週間	1	木	元日		1	日		1	日
2	木		2	日		2	火	オープンスクール	2	金			2	月		2	月
3	金		3	月	文化の日	3	水	1年科学C学習(午後)	3	土			3	火		3	火
4	土		4	火		4	木		4	日	学校閉鎖日	↓	4	水		4	水
5	日		5	水		5	金		5	月			5	木		5	木
6	月	確認プログラム全学年	6	木		6	土		6	火	冬季休業終了		6	金		6	金
7	火		7	金		7	日		7	水	始業式		7	土		7	土
8	水	生徒会選挙	8	土		8	月		8	木	冬休み明けテスト		8	日		8	日
9	木		9	日		9	火		9	金			9	月		9	月
10	金		10	月		10	水		10	土			10	火		10	火 3年生を送る会
11	土		11	火		11	木		11	日			11	水 建国記念の日		11	水
12	日		12	水		12	金		12	月	成人の日		12	木 1.2年第3回テスト①		12	木
13	月	スポーツの日	13	木		13	土		13	火			13	金 1.2年第3回テスト②		13	金 卒業式
14	火	体育大会準備	14	金		14	日		14	水			14	土		14	土
15	水	体育大会	15	土		15	月	懇談会①1.2年	15	木			15	日		15	日
16	木	体育大会予備日	16	日		16	火	懇談会②	16	金			16	月		16	月
17	金		17	月		17	水	懇談会③	17	土			17	火		17	火
18	土		18	火	第2/3回テスト①	18	木	懇談会④	18	日			18	水		18	水
19	日		19	水	第2/3回テスト②	19	金	懇談会⑤	19	月			19	木		19	木 修了式
20	月		20	木	第2/3回テスト③(1.2年)	20	土		20	火			20	金		20	金 春分の日
21	火		21	金		21	日		21	水			21	土		21	土
22	水	進路保護者説明会	22	土		22	月	懇談会⑥	22	木	3年模擬面接		22	日		22	日
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火		23	金	確認プログラム1.2年		23	月 天皇誕生日		23	月
24	金		24	月	振替休日	24	水	Ⅱ期終業式	24	土			24	火		24	火
25	土		25	火		25	木	冬季休業開始授業予備日	25	日			25	水		25	水
26	日		26	水		26	金	授業予備日	26	月			26	木		26	木
27	月	3年進路懇談①	27	木		27	土	学校閉鎖日	27	火	2年華道体験		27	金		27	金
28	火	職場体験2年①3年進路懇談②	28	金	スポーツフェスティバル(育成)	28	日		28	水			28	土		28	土
29	水	職場体験2年②3年進路懇談③	29	土		29	月		29	木						29	日
30	木	職場体験2年③3年進路懇談④	30	日		30	火		30	金						30	月
31	金	職場体験2年④3年進路懇談⑤				31	水		31	土						31	火

● 学校生活について

◇ 登校時間

①平日の登校について

- ・遅くとも8時25分までに登校できるようお願い致します。
- ・尚、8時00分より前に登校することはご遠慮ください。
- ・登校後は、教室で朝読書をします。

②土日祝の登校について

- ・校内の部活動開始時間は7時30分以降となります。
- ・近隣住民の方への配慮を考え、7時30分より早い時間帯の活動は行いません。
但し、大会等で活動が必要な場合を除きます。

◇ 校時表の変更

①授業時間について

- ・木曜日は基本的に5時間目までとします。

②終学活

- ・月～水・金： 15時05分～15時10分
- 木： 14時05分～14時10分

③清掃活動

- ・放課後の清掃活動は週2回（火・金）です。

④部活動について

- ・原則、木曜日を部活動停止日とします。
- ・また、完全下校時間は16時50分です。
- ・平日の下校時の服装も、部活動の服装で下校することは可とします。
ただし、衛生上、運動した服装で帰るのでなく、着替えて帰ることを原則とします。

⑤定期テスト

- ・定期テストの実施回数は年3回です。
[1、2年生] 6月、11月、2月実施
[3年生] 6月、9月、11月実施
- ・懇談会（7月、12月）で定期テスト以外の評価項目を記載した副票を配布します。
- ・詳細については、研究部のページをご覧ください。

● 学校業務について

◇ 業務対応

①電話受付時間

・通常授業期間

月～金： 8時00分～17時30分

土日祝： 電話受付はございません。

・長期休業中

月～金： 8時25分～16時55分

土日祝： 電話受付はございません。

閉鎖期間： 電話受付はございません。

・ 17時30分以降、電話の受付は基本的に行いませんが、学校側からご家庭へ連絡が必要な場合は、対応させていただきます。

・ 欠席や遅刻等の連絡につきましては、「すぐーる」をご活用ください。

②個別懇談会

・ 個別懇談会は年間3回実施予定です(4・5月、7月、12月)。3年生のみ、10月に進路懇談会を実施するため、3年生は4回実施になります。

・ 4月下旬から5月初旬の懇談会は二者懇談会です。7月・(10月：3年生)・12月の懇談会はお子さまも含めた三者懇談会になります。

・ 1学級の生徒数を考慮し、1・2年生は6日間、3年生は5日間で行います。
(4・5月の二者懇談会は各学年1日少なくなります。)

・ 時間につきましては、16時50分終了とさせていただきます。

・ 学校へ来校される際、お車の乗り入れにつきましてはご遠慮ください。



● 部活動

◎体育系

陸上(男女) 野球 卓球(男女) 柔道(男女) ラグビー

バスケットボール(男女) ソフトテニス(女) サッカー

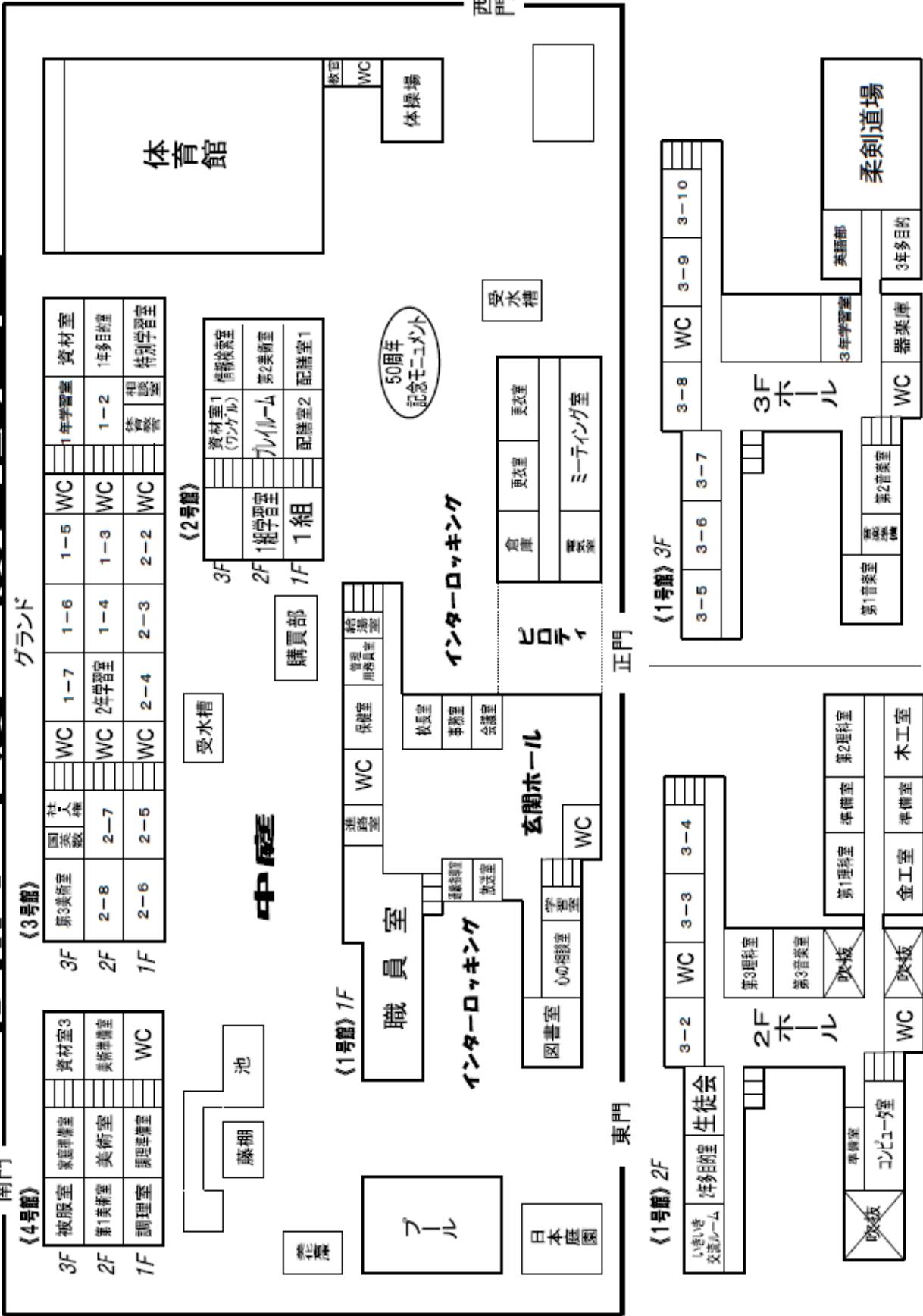
ワンダーフォーゲル 剣道(男女) 水泳(男女) バレーボール(男女)

◎文化系

美術 理科 英語 放送 茶道 吹奏楽 パソコン

令和7年度 校會配管圖

校中学校立藤森都市



令和7度 研究部 教育課程資料

目指す学校・生徒の姿

自ら学ぶ生徒を育てるシステムと文化をつくる
～ふりかえりを軸にした学ぶ意識の向上～

- 1. 「自ら学ぶ」（自己探求）に徹底的にこだわる授業づくり
- 2. 一人も見捨てない「学び合い」学習
- 3. 「ふりかえり」を軸とした授業スタイルの確立
- 4. 「フィードバック」をとおして心を育て、前向きな気持ちと豊かな感性を育成する

1. 新学習指導要領の改定で、学ぶ目的が変わった！

「何を知っているか」だけでなく、それを活かして「何ができるか」という「学び方を学ぶ」授業への転換。学習面を中心に、自分を知り、自分を変えていく（自己探求）機会を増やしていきます。

2. 定期テストの回数を変更

これまでの卒業生から「定期テストの点数はとれるけど、入試の過去問（模試：中1～3の復習）は全然解けません...」「定期テストで、一気に9教科の内容聞かれても...理解できません（定期テストなんてどうせとれない）」といった意見が出していました。定期テストの直前「だけ」学習するという学習観から抜け出すために、定期テストの回数を減らし、普段の授業の課題で細かく評価していきます（学びのサイクルを小さくするイメージです）。例年より、1つ1つの授業の課題（小テストや単元テストも含む）が増えるので、毎日の授業・家庭学習を頑張るよう声をかけていただけると嬉しいです。

成績についても「定期テスト以外」の評価項目が、例年以上に重視されることになります。

3. 「学び合い」「ふりかえり」「フィードバック」活動の充実

一人一人の学習意欲を高めるために、「安心して、教えてと言える環境づくり」と、その時間の確保。

自身の学習を定期的にふりかえる場面（定期テスト後は必ず実施）、教員からの丁寧で小まめなフィードバックを心がけます。毎日の授業は、基本的に「（前時の）ふりかえり活動」ではじまり、「（本時の）ふりかえり活動」で終わります。

4. 学習指導要領の3つの柱をベースに評価

学習状況評価の3観点は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」になります。従来の教育に比べて問題解決能力や自主性、思考力が重視されるようになりました。

知識・技能

「知識・技能」の観点では、各教科で身につけるべきとされている知識やスキルについて、十分に習得しているかが評価の対象となります。ただし、1問1答形式で測るような単純な知識だけではなく、他の教科の知識とも結びつけて活用できるような概念的な知識も重視されます。

思考力・表現力・判断力

「思考力・表現力・判断力」の観点では、「知識・技能」に比べてより広い力を評価することになります。

各教科教育の中で課題や問題に向き合って解決していく能力や、級友と協力しながら問題解決の糸口を見つけていく力など幅広い能力が評価対象になります。自らの思いを表現していく能力も評価されます。そのため、具体的な評価方法はペーパーテストに限られないことが予想されます。グループでのディスカッションや発表、レポートなど、各教科の特性に合わせて評価方法が工夫されています。

ペーパーテストだけに偏らない多様な試験方法が用いられることになります。

主体的に学習に取り組む態度

「主体的に学習に取り組む態度」は今までの「関心・意欲・態度」の評価観点に対応するものですが、評価軸はこれまでとは多少違ったものとなり、さらに深い部分を見ていくことになります。各教科の内容を理解するために、児童・生徒が「いかに学習を調整して、知識を習得するために試行錯誤しているか」という部分を評価していきます。

5. 具体的な評価について

- 各観点は A・B・C で評価(変更なし) B が「おおむね満足=標準」という状況

A=十分満足できると判断されるもの

B=おおむね満足できると判断されたもの

C=努力を要すると判断されるもの

- 中学校は 5 段階評定 3 が「おおむね満足=標準」という状況

5 = 十分満足できると判断されたもののうち、特に程度の高いもの

4 = 十分満足できると判断されるもの

3 = おおむね満足されると判断されるもの

2 = 努力を要すると判断されるもの

1 = 一層努力を要すると判断されるもの

	5	4	3	2	1
評価の数	AAA	AAA～AAB	AAB～BBC	BBC～CCC	CCC
補足	特に「A」の達成度が高い	達成度で判断	達成度で判断	「BBC」は達成度で判断	特に「C」の達成度が低い

6. 評価は加算方式

学期ごとに出すのではなく、積み上げ方式となります。

